

# 特別支援教室のお便り

6月号

 杉並区立高井戸第四小学校  
 特別支援教室拠点校

たかし教室直通03-5336-9522

特別支援教室の指導が始まり一か月がたちました。運動会等の行事があった学校もあるかと思えます。頑張っていることをたくさん認めて、お子様の成長や日々の様子、保護者の方の願いや今後のことについて考えながら指導していきます。どうぞよろしくお願いたします。

## 7月の予定

・～7月14日(金)

1学期の指導終了



## 特別支援教室のボードゲームやコミュニケーションゲームを活用した学び

◇特別支援教室で扱うボードゲームの種類には様々なものがあります。



- ・数字に強くなれるゲーム
- ・言葉で気持ちを伝えるゲーム
- ・漢字を楽しく覚えるゲーム
- ・発想力を鍛えるゲーム
- ・想像力が試されるゲーム
- ・交渉力が身に付くゲーム
- ・足し算や引き算が自然と身に付くゲーム
- ・国語の語彙を増やすゲーム
- ・社会の地理や歴史が自然と身に付くゲーム
- ・感情のコントロールを楽しく学ぶゲーム
- ・相手の心理を読むゲーム
- ・物語の創作が得意になるゲーム



◇ボードゲームの種類はとても豊富で、子供の発達の特徴に合わせて、様々な教材や教具を使用しながら、子供の成長を促します。同じ教材や教具を使用している場合でも、子供の課題によって指導する目的が異なることもあります。どんな力を身に付けたいかを指導者が意識して指導し、子供たちは自然と授業の中で必要なスキルを身に付けられるよう工夫をしています。

◇ボードゲームをすることを通してつけさせたい力

- ・話をよく聞いてルールを理解する力
- ・ルールを守って協力してゲームを行う力
- ・勝ち負けのある活動を通して感情をコントロールする力
- ・推理する力、論理的思考力
- ・コミュニケーションスキルの育成

◇機械に動かされるのではなく、自分の頭・目・手先を使って自分のペースでできるところは、デジタルゲームにはない、ボードゲームならではの良さです。作戦などをじっくり考えること、相手の様子をじっと観察すること、友達とコミュニケーションをとることなどが期待できます。

◇ボードゲーム中の声掛けもとても大切にしています。指導する側は、子供の言動に注意深く意識を向け、子供の感情を言語化して伝えることを大切にしています。ただ「嫌だ」「むかつく」と表現する言葉の裏に、様々な感情があることを代弁して伝えます。そして、良い発言や良い行いを見つけてすかさず褒めることで、円滑なコミュニケーションを強化していきます。効果的な声掛けにより、子供たちはより授業の充実感を得られます。

◇「楽しい気持ち」を大切に。何かを身に付ける時の一番の近道は「楽しい気持ち」です。楽しい時間をすごしていたらいつの間にか成長していたとしたら、それは最高の学びの時間だと思います。子供の成長には時間も必要です。すぐに成果が出るものばかりではありません。子供の成長を支える大人が温かい気持ちで成長を見守っていく姿勢を大切にしたいと考えています。



◎小集団学習「みんなの時間」

「風船バレーをしよう」

- ・室内で気軽にできる運動に触れ、体を動かす楽しさや大切さを知る。
- ・運動を通じて、友達とコミュニケーションをとる。
- ・ルールを守って安全に楽しくゲームをする。

「友達と協力する運動」

- ・状況や友達の動きをよく見て、自分の動きや関わり方を調整する。
- ・友達の意図や気持ちを想像しながら、協力しようとする。
- ・ルールを理解し、運動を通して友達とのコミュニケーションを楽しむ。

「モザイクタイルアート製作」

- ・手先を器用に使い、集中して課題に取り組む。
- ・デザインを工夫し、素材の魅力をいかした作品制作を行い、自己表現をする。
- ・友達と交渉したり、交流したりし、コミュニケーションを楽しむ。

「この色何色？～ヒトイロ～」

- ・お題にふさわしいと思う色を連想する。
- ・多数の人が連想しそうなものを考え、他者視点をもつ。
- ・ルールを守って楽しく活動する。

◎個別学習「じぶんの時間」 目標や活動の内容、その他

Blank box for individual learning notes.